

提案事業名	世界が広がる！学校では教えてくれない国旗の授業
提案者	富士見三芳稲門会(会長 大久保 博康)
担当部署	文化・スポーツ振興課

1 事業の必要性

公共的な課題の解決や地域の活性化等について、現状を把握し、市民に必要とされている事業であるか。

- 意見
- ・ 学校の授業を超える内容が感じられなかった
 - ・ 数値的な把握と住民だからこそ感じる街並みの変化などしっかりキャッチされておられるように思いました。
 - ・ 必要性は感じられない
 - ・ 市民に必要とされている事業でもない。
 - ・ 外国人が増加しており、国際理解につながる場の提供は必要と思う。
 - ・ 協働事業としての必要性は感じない。講座として開催してはと思う。
 - ・ ○
 - ・ 見識を広める為の講座としてはいいと思いますが公共性が高いとはいえない。
 - ・ グローバル化に対応できる子供を育てることができる。

2 公益性及び市民サービスの向上

不特定多数の市民の利益と、市民サービスの向上につながる事業であるか。

- 意見
- ・ △
 - ・ 国旗について学ぶことで多文化共生の一助になるというのがまだ深く理解はできていないものの、興味関心が巡り巡って市民サービスの向上に寄与されるのかなと感じた。
 - ・ 市民サービスの向上につながりにくい。
 - ・ 国際理解の向上は市民にとって利益になると考えられる。
 - ・ そうとは判断がつかない。趣味の領域ではないか。
 - ・ 現在は子供対象(それに関わる外国人)で、不特定多数とは言えないが、シルバー向け講座のみならず、一般に広く講座を行うことを期待したい。
 - ・ 興味を持つ市民は一定数いらっしゃると思いますので、サービス向上の一助にはなると思います。

3 具体性継続発展性

事業計画が実行可能な方法、スケジュールに基づいて作成された事業であるか。

- 意見 ・ ○
- ・ 団体として初の試みで試行的な意味合いもあるとのこと。一般的な講演会の体であることから実現性は高いと感じる。
 - ・ 予算をつけるには、富士見三芳稲門会ではなく、富士見市だけで構成した団体での主催すべきである。
 - ・ 実績があり、スケジュールは具体的である。
 - ・ 年間スケジュールには問題ない。
 - ・ ○
 - ・ 実行可能
 - ・ 十分なスケジュールだと思う。

その事業に継続性があり、自主的な活動による発展性があるか。

- 意見 ・ ○ 運営に問題はなさそう
- ・ 継続していくには団体として一定の成功体験とノウハウの蓄積が必要であるとのことなので、現時点では不透明であると感じる。
 - ・ プレゼンでは、国旗の授業の継続性は語られなかった。地域貢献活動としては、発展性がある。
 - ・ 本事業の継続性は感じられない。
 - ・ 今後は、大人も対象に考えているとの事に発展性を感じた。
 - ・ 継続性あり、発展性なし
 - ・ 講演会までの間は準備のみとなる。何かイベントが出来ると良いのではないか。

4 適正な予算

事業内容に照らして、適正な予算の積算がされているか。

- 意見 ・ △
- ・ されているものと思います。
 - ・ 積算がされている。
 - ・ 適正予算と思います。
 - ・ 予算の問題は感じない。団体としての予算はあると思う。
 - ・ 参加者の記念品として、補助対象外ではあるが、大学のボールペンが配布されるとのことだが、市の協働事業で大学の広告をするようになるのはどうなのか？市役所の方に委ねたい。
 - ・ されていると思います。

5 協働の必要性

事業目的達成のための、提案者と市の協働の必要性が明確になっているか。

- 意見 ・ △
- ・ 役割は明確であると感じるが、団体の地盤がしっかりしている為、協働としてのバランスが崩れないように気を付けてもらいたい。
 - ・ 必要性が明確になっていない。
 - ・ 国際理解が目的であれば、協働先は妥当性がある。
 - ・ 明確とは思えない。
 - ・ ○
 - ・ 明確になっている。

6 役割分担

提案者と市との役割分担が明確で、相互の特性を活かしているか。

意見 ・ ○

- ・ 子どもが対象ということであるならば、教育委員会が協働相手として適切ではないかと感じた。
- ・ 相互の特性を活かしている。
- ・ 一般教育とは違いがあり、相互の特性は発揮できると思う。
- ・ ○
- ・ 学習としての要因が大きいと感じましたので、文化・スポーツ振興課の特性は生かされていない。

7 協働の効果

提案者と市が協働で取り組むことにより、質の高い市民サービスを提供することができ、他の地域や他者へ成果の広がりが期待できるか。

意見 ・ △

- ・ 生涯学習としての場だけを切り取ってしまうと多く存在している為、団体だからこそ生み出せる特徴的な効果を期待したい。
- ・ 広がりが期待できない。
- ・ 何事においても、市と協働することは質の高いサービスを市民に提供出来ると思います。
- ・ 現況では、この事業との連携は感じられない。
- ・ ○
- ・ 広がりは期待します。
- ・ 次年度の計画もすでに立てられており、成果の広がりが期待できる。

8 事業実施能力

提案者には、事業実施のために必要な体制等があり、市と効率よく連携を図ることができると認められるか。

意見 ・ ○

- ・ 認められると思います。
- ・ 連携を図ることはできると思う。
- ・ 実績があり、連携を図ることが出来ると思います。
- ・ 団体としての体制は十分にあると思う。
- ・ ○
- ・ 認められる。

事業の実施に対する熱意があると認められるか。

意見 ・ ○

- ・ 十分に伝わりました。
- ・ 熱意は感じました。
- ・ 十分に認められる。
- ・ ○
- ・ プレゼンテーションの時には感じられませんでした。

意見・評価

・ネガティブ

・内容として興味関心を寄せられるものと感じるものの、果たして市民に必要とされている取り組みなのか、課題解決できるアプローチなのかやや疑問が残る。これまで同じテーマ(環境保全、野良猫不妊手術等々)で取り組む団体に対して継続性の可否について検討されてきたが、本取り組みの多文化共生というテーマについては単発である。継続性があるものと判断してよいか分からない。また、学びの機会を提供するということが目的であるとする公民館事業の中での連携など既存の制度で対応できる事業ではないかとも感じた。

・国旗から色々な事が学べる・知る事ができることから、興味はあります。

・自己の団体のみで実施が可能と思われる。

・今回は、社会貢献の一つとして、国旗を取りあげたと理解しました。提案者の豊富な人的ネットワークをフル活用し、継続的に市民の興味を引き、役立つテーマで地域貢献をしていただきたい。

・事業の内容は面白いし、興味もあるが市との協働での事業となると少し差異を感じざるをえない。オープン講座等で町会等と協賛で実施してはと思う。

・委員の方で「国旗の話となると、国の成立や宗教などの話になってしまわないか？」と質問しており、私もそれを懸念していたが、そこまで深堀はしないとのことで安心したが、市役所の方で、引き続きチェックしていただきたい。

今回のプレゼンでも、オリンピックという言葉が何回か出たが、障がい者差別の問題もあり、正式には、「オリンピック・パラリンピック」、せめて「オリパラ」と言うなど、市の協働事業であり、また、子供対象でもあるので、きちんと話していただきたい。

・講座形式の学習機会としては、連続性を強く期待したい所ですが、今回は一回のみの開催という点が非常に残念に思いました。更にプレゼンテーションでその質問が出た際の受け応えが消極的に感じられた点も気になりました。

しかしながら、学びの機会の創出という点に於いては多様なパターンを用意して子供達の興味を引き出せる可能性もある事から今後の継続性に熱意があれば、市民サービスの向上の観点から承認と評価します。

・講演時において、子供にもわかりやすい資料の配布が必要。

ただ話をするだけでなく、参加者に問いかけをするなど、聴講者にも一定の参加を求めると良い。